

創造力と飽くなき探求心 絶えない元気の源

常に変化を求め、新たなものを創り出すのが、山辺人の気質。それは、産業の分野はもちろん、地域活動においても同じです。

回を重ねた活動も、ただ同じことの繰り返しではなく、新たな試みを取り入れ、より元氣な活動にしようと努力。工夫を惜しみません。

「今より、もっと面白い活動ができないか？」——常にそう考え、新しい活動を切り開くのが山辺流。

地道に継続している活動がある一方、盛り上がった矢先に潔く撤退し、別の活動をスタートさせることがあるのも、その表れ。

プロ選手のエキシビションマッチや、チアリーダー体験会の参加者によるパフォーマンス披露など、多彩な企画でファンを魅了する『山辺町バスケットボールフェスティバル』



「変わり身」の早さ。一つの活動が終わっても、また新しい活動が生まれます。創造力と飽くなき探求心が、地域活動の源。山辺の元氣が絶えることはありません。

ブロック協議会で地域の絆づくり

山辺町内には、公民館などを拠点とした10の地域ごとにブロック協議会があり、各協議会とも地域の特色を生かし、交流会や環境美化活動など住民同士のふれあいを深める活動に取り組んでいます。地域の絆は、まちの活性化だけでなく、災害時などの助け合いにつながることを期待されます。地域の絆づくりを推進するため、町はブロック協議会の活動を支援しています。

※各ブロック協議会から平成29年度の活動報告として提出された写真を使用しています。



中央「ふれあい交流コンサート」



大寺「ふれあい秋フェス」



緑ヶ丘「わくわくフェスタ」



中「盆踊り花火大会」



相模「相模の里芸能祭」



近江「盆踊り大会」



作谷沢「地区民交流会」



山辺町バスケットボールフェスティバル実行委員会 実行委員長

はらだ なかば
原田 半 さん
(大門町3)

バスケットボールの魅力を一人でも多くの人に伝えられるよう、中学校の先生やスポーツ推進委員なども交えてアイデアを出し合っています。「すだまり氷」早食いのような山辺らしさを活かしたコーナーや、今後は友好都市・日立市から子どもを招いての前座試合など、ますます楽しめる企画を考えていきたいです。

スタッフのあたたかさや熱意を活かし、ほかにはない山辺ならではのマラソン大会を開催しています。いつも何か新しいものを取り入れていきたいと考え、2018年は「青春駅伝」と題した駅伝の部を設け、山辺産ニットの襷をつなぎました。地元の農産物などを使った参加賞も好評で、参加者の方に喜ばれる大会になっています。

やまのべ「星ふるロード」マラソン大会実行委員会 実行委員

おおき まこと
大木 誠 さん
(大塚3)



町外からも大勢のランナーが参加する『やまのべ「星ふるロード」マラソン大会』。マラソンだけでなく、2017年には「恋活」、2018年には「駅伝」を取り入れるなど、山辺ならではのマラソン大会



山辺産ニットの襷をつないだ駅伝



①



②



③



④



⑤

- ①くう・のむ・あそ部フェスタ
- ②相模の里「たけのご祭り」
- ③雪中棚田サッカー大会in大蔵
- ④まんだらの里・雪の芸術祭 (スカイランタン打ち上げ)
- ⑤大寺さくらまつり